



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	納谷, 敦夫; 澤田, 重樹; 近藤, 明男 他
Citation	makoto. 2003, 121, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85811
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府健康福祉部長

納谷 敦夫

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本府の健康福祉行政に格別の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本府では、都市や産業などが再生し、大阪に集い、くらす誰もが夢をもち、夢をかなえる、元気あふれる大阪づくりをめざす、「大阪の再生・元気倍増プラン～大阪21世紀の総合計画」を策定し、大阪の将来像実現に向けた取り組みを進めています。

健康福祉分野におきましても、生涯を通じた健康づくりやあたたかい地域社会づくり、また、誰もが必要に応じて良質な保健・福祉・医療サービスを選べる、安心できる社会づくりや、安心して子どもを生み育てることのできる社会づくりを進めるほか、災害や事故などに対して不安感を抱くことのない備えができた大阪づくりをめざしているところです。

感染症対策として、国においては、昨年11月に感染症法の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部改正が行われ、アメリカ等で感染地域が急速に拡大しているウエストナイル熱が四類感染症の対象疾患に追加されました。本府といたしましては、ウエストナイル熱はもとより、感染症の発生動向を注視いたしますとともに、医療機関、市町村等との危機管理体制を一層強化するなど、感染症対策をより適切に推進してまいりたいと存じます。

貴協会におかれましては、永年培われてこられた衛生害虫等の防除と管理、建築物等のメンテナンスを始めとする防疫対策・環境衛生などに関する豊富な経験と実績や高度な技術を遺憾なく発揮され、府民が生き生きと健康に暮らすことのできる「健康都市・大阪」の実現に向け、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々の御発展と会員の皆様方の御活躍、御健勝を祈念致しまして新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の御挨拶



財団法人 大阪防疫協会

理事長 澤田 重樹

明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年とは何かとご指導ご鞭撻賜りまして有り難うございました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ここ数年、今年こそはと景気の回復を期待しつつも、相変わらず地価の下落は止まらず、デフレの進行と共に、銀行における不良債権は、処理すれども減らないという状態が続いております。人々は景気の回復を切に願っており、今年こそは良い年になってほしいと思っています。

昨年、色々な出来事があった中で気になるニュースの一つが、米国で問題になっている蚊に刺されることによって感染する西ナイルウイルスのニュースでした。新聞等で報じられているように、このウイルスは鳥と蚊の間で増殖するそうであり、昨年は一昨年以上に米国の可成りの地域に拡大し患者数、死亡者数共に増大しているとの事です。幸いにも、まだ日本には入って来ていないとの事ですが、航空機や渡り鳥により、このウイルスが何時入って来てもおかしくない状況にあると言われています。

近年、蚊は夏場だけのものではなく我々の身近では、冬場にも見られるようになって来ました。建物、特にビル内における地下湧水槽、排水槽などで蚊は発生しますが、建物内では温度管理がなされ、人間だけではなく蚊にとっても快適な生活空間が提供されているのです。

かつて、日本において、蚊は日本脳炎・マラリア等の感染症を媒介して問題になりましたが、近頃は一般の人々にとって感染症を媒介する恐ろしさの問題意識は薄いようです。

西ナイルウイルス対策について、国では空港における検査体制を始め、種々の対策が検討されているようであります。今年からは今まで以上に発生源対策や虫刺され対策など、蚊に対して注意を払うことが必要になってくるのではないのでしょうか。当協会においても、日常の防除業務を通じて協力して参りたいと考えております。

新年のごあいさつ



大阪市健康福祉局
保健医療本部長

近 藤 明 男

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の健康福祉行政の推進に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市ではだれもが安心して暮らせるよう、市民の健康と福祉の一層の向上をはかるとともに世界中から多くの人・もの・情報が集まり、新しい産業や文化を創造する活力に満ちた国際集客都市の実現に力を注いでおります。

昨年のFIFAワールドカップをはじめ、本年9月に開催が予定されている世界柔道選手権さらに2007年の世界陸上選手権大会など様々な国際競技大会を招致開催し、スポーツを通じて国際交流を積極的に進め、国際集客都市の実現に努めております。

このように大阪市では世界に向けて開かれた都市、大阪を目指し取り組みを進めているところですが、一方で国際化や高齢化にともない、現在アメリカで流行しているウエストナイル熱など衛生害虫が媒介する疾病の国内への侵入や、高齢者の免疫力低下によるレジオネラ症など感染症の拡大が危惧されるところです。

今後とも、市民をはじめ訪れた方々に快適で安全な環境を提供できますよう衛生対策を進めるとともに、保健・医療・福祉などの生活に密着した健康福祉行政の推進を図ってまいります。

これら事業を推進するにあたりましては、これまでに貴協会が培われた豊富な知識や経験、高度な技術を十分に生かされ、流動化する社会情勢に的確にこたえられ、快適な生活環境の推進に、一層寄与いただきますようご期待申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市保健福祉局長兼
保健衛生部長

池 田 忠 司

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本市保健衛生行政の推進に格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地方分権時代を迎え、全国の市町村は厳しい財政状況のもと、様々な行政課題への対応や、より効率的な財政運営が求められています。このような状況の中で、全国の市町村にとって市町村合併は避けることのできない検討課題となっております。

本市におきましても、より一層の住民福祉の向上と地域のさらなる発展のため、より高度化した地方分権を実現し、自立したまちづくりを实践できる政令指定都市の実現をめざし、近隣市町との広域連携のあり方や合併問題などを含めた調査研究を進めております。

保健と福祉の連携が求められているなかで、平成14年1月に「健康さかい21」を策定し、市民の主体的な健康づくりの実現に向けて、行政、学校、地域などの関係機関が連携を持ち、様々な情報交換を行い、環境づくりや地域づくりなどを積極的に推進しております。

一方、「堺市健康危機管理総合基本指針」を定め、食中毒、感染症、有害物質、飲料水、医薬品などによる健康被害の発生予防や発生後の速やかな対応に努めるとともに、問題となっているシックハウス症候群などの諸問題についても、市民が快適で健康な生活環境を確保できるような衛生対策の充実強化を図っております。

貴協会におかれましては、これまで培われてきた豊富な知識、経験、高度な技術をもって「健康都市・堺」の実現をめざした環境の確保のために、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

木 田 勝 通

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今日急速に少子高齢化や高度情報化、国際化が進展する一方、経済は依然として厳しい状況にあります。

本市では、こうした社会情勢を踏まえ、より一層の行財政改革に取り組むとともに、市民が安全で快適に住み、元気に働き、生涯にわたって学び、憩い、楽しむことができる、世界に開かれた「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」の創造を目指し、その実現に向けて種々の施策を積極的に推進しているところであります。

とりわけ保健衛生における生活衛生業務は、市民の生活に密接する分野で衣食住の全般にわたって市民の健康被害を防止することを使命としており、昨年来のＢＳＥ問題、食品の偽装表示事件などを契機に、食に対する安全性、信頼性の確保のため、今以上、市民に対するきめ細かい情報提供等の対応が必要だと考えております。

また、米国で猛威をふるっている西ナイルウイルスや、近い将来克服され则认为られてきたマラリア等の感染症が再び脅威を与える恐れがあるため、日頃からの積極的な情報収集や不測の事態を想定した危機管理体制の充実を図ることがますます重要となっています。

これらの施策の取組みと推進にあたり、豊富な経験と高度な知識・技術を培われている貴協会のなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶



財団法人
阪大微生物病研究会

理 事 長 東 雍

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、財団法人阪大微生物病研究会のワクチン事業遂行に格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は小泉行革内閣の２年目として、行政改革の実行と経済の再建を期待いたしておりましたが、不良債権処理や行政改革は実現できず、アメリカの経済回復の遅れと大企業の粉飾決算や倒産があり、国内においてもＢＳＥ問題から派生した日本ハムの不正買い上げ問題、食肉偽装の不正販売と流通に対する国民の不信、需要抑制等経済の回復の見通しもつかない状況となり、一日も早い景気及び信頼の回復を願うばかりです。

私共の業界におきましても国民医療費が30兆円を越す中で総医療費の抑制、健康保険料の負担率の増加等の政策が打ち出されております。殆どのワクチンは患者の治療を対象とする保険制度は適応されておらず、接種は市町村の予算や一部自己負担、又は全額自己負担で行われ、高くつくように思われがちですが、医療費の負担増しは病気に罹る前に予防することの重要性和、一方では予防は医療費の削減に繋がることが社会的に再認識されるものと思っております。

私共もワクチンの品質を高め、より有効で安全な製品を安定供給することで、皆様に安心して使って頂けるよう日夜努力を致しており、現在観音寺研究所においてシリンジ製剤及びチメロサルフリー品を実現する為、製剤棟の建設に取り掛かっております。又、現在麻疹・風疹混合ワクチンを始め５品目の開発中のワクチンがあり、上市出来れば必ず皆様方のお役に立つものと期待しておりますので、今しばらくご猶予いただきたく存じます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

新年のごあいさつ



株式会社
大阪府食品流通センター
取締役管理部長 豊田 博 充

新年明けましておめでとうございます。

大阪防疫協会の皆様方には、清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年も、大阪府中央卸売市場と加工食品卸売団地の良好な環境保持のため、防疫・消毒などに格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰さまで、BSE問題や食品の虚偽表示問題更にはトラブル隠しなど食の信頼を揺るがす企業の不祥事が多発し、食材の安全性や品質に対する消費者の関心が高まる中、当社の使命とする新鮮な食材供給基地の安全管理という重大な役割を、無事果たすことが出来ました。

貴協会をはじめ、関係各社のご尽力によるものであり、深く感謝いたしております。

「信なくば立たず」世の中、人と人との信頼関係が原点です。こうも次々と信頼を損なう事件事故が続くと、疑心暗鬼が増大するばかりです。公私を問わず、信頼関係に立った業務遂行であり、社会生活でありたいものです。

市場の活性化が求められている今、今年は、開場25周年を迎えます。5月11日には記念事業として、「市場まつり」を手作りで開催することになっています。これを契機に市場の活性化に火が点けばと思いますが、日本経済の活性化とあわせ無理でしょうか。

今年も、当社に課せられた使命を果たすべく最大限の努力を傾注してまいりますので、貴協会におかれましても、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

